

研修履歴

諒さん

- 2012.07. 北海道担い手センターから紹介の連絡有り
- 05. 短期農業体験(2泊3日)
- 10. 新農業人フェア(東京)で相談
- 2013.04. 長期農業体験(10ヶ月)
- 2014.01. 鶴川研修農場で実践研修
- 2015.11. 独立就農(就農時31歳)

美佳さん

- 2013.05. 短期農業体験(10日間程度)
- 2014.04. 長期農業体験(1年7ヶ月)
- 2015.11. 独立就農(就農時30歳)

おかまつ りょう
岡松 諒さん



『農業に関わる何かしらの仕事に就きたい気持ちはありました』

経営規模

農地 2ha
 施設 ビニールハウス 100坪×8棟
 作物 トマト・春レタス 他
 農業従事者 本人、妻(美佳さん)

住宅

市街地の賃貸アパート
 圃場から約2km



福岡県に生まれ、高校時代のスキー学習で訪れた北海道に良い印象を受け、北海道の大学へ入学した岡松さん。大学では農学部にも所属し、農業機械学を学んでおり、高校理科の教員免許も取得した。

■大学時代から独立就農を考えていたのでしょうか。

諒さん「独立就農は考えていなかったのですが、祖父母が兼業農家で幼い頃から農業が身近であったこともあり、農業に関わる何かしらの仕事に就きたい気持ちはありました。」

卒業後、大阪、東京でサラリーマン生活を経験した後、やはり農業で自ら生産したものを販売したいと思い、都内にある就農相談センターへ。

■北海道での就農はこの時点で決めたのでしょうか。

諒さん「関東方面への出荷を考えて長野、実家の福岡に近い熊本、大学時代に縁のある北海道、この3つの地域で迷っていました。」

情報収集をしていくうちに、冬は出来

ないと思っていた北海道での農業が、通年栽培できる町もあることを知り、実際にむかわ町で2泊3日の農業体験をした岡松さん。この体験中、独立就農するための資金面やむかわ農業の特徴等の話を農家さんからいろいろ聞き、むかわ町での就農を決心した。

翌年(平成25年)、むかわ町へ移住し、長期農業体験に入った。

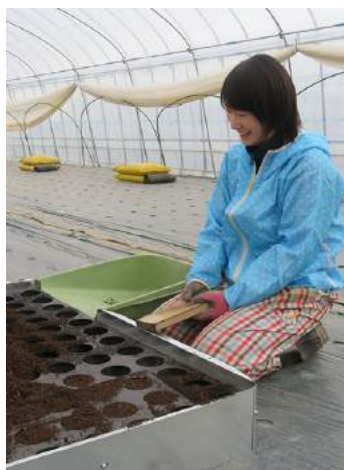
諒さんの長期農業体験中、妻の美佳さんは当時のお住まいであった札幌から通い、トータルで10日間ほど諒さんの体験先圃場で一緒に農業体験をした。

美佳さんは大阪生まれ、札幌育ち。農業には全く縁がなく、不安な気持ちで農業体験に挑んだとのこと。

■当時、諒さんとはまだ結婚前であり、諒さんがむかわ町で独立就農すると決心し、美佳さんの当時の心境はどうだったのでしょうか。

美佳さん「なんとも言い表すのが難しい気持ち(笑)

この時の農業体験で、(農業を)やれるかも、という気持ちになった。」



翌年(平成26年)おふたりはむかわ町で結婚式を挙げ、美佳さんもむかわ町へ移住し、諒さんとは別の農家さんで長期農業体験に入った。

諒さんは長期農業体験終了後、実践研修農場にて1年10ヶ月の研修を経て、昨年(平成27年11月)独立。



独立までのあいだ、美佳さんは法人個人の農家さん4か所での農業経験を積んだ。

美佳さん「農家さんによって作業の仕方も違うので、いろんな農家

さんで経験させてもらえたことは、とても勉強になった。」

■研修生時代と独立した今とでの一番の心境の変化はどういった部分でしょうか。

諒さん「土地の特徴をまだつかめていない、水や機械、休憩室の設置等の設備の面でも大変さを独立して改めて感じます。定期的な研修手当や助成金があった研修生の時とは違い、今は今後の収入面の不安感があります。」

■独立就農されて約6カ月が経とうとしています。今の状況はどうでしょうか。

諒さん「11月、12月はハウスを建て、後半から3月に掛けてレタスの定植も始まり、設備設置も同時進行でバタバタしていました。今月(4月)からようやく落ち着いてきました。」

笑顔で応える諒さんと、楽しそうにトマト苗用ポットの土詰め作業をする美佳さん。

■ご夫婦での農業経営の魅力はどこなところでしょうか。

美佳さん「仕事の話を共有出来る。生活のリズムも自然と一緒に出来る場所かな。」

■新規就農を考えている方にメッセージをお願いします。

諒さん「何かしら、創意工夫をしてすべてイチから作り出すことを楽しむことが出来る人が農業に向いていると思います。むかわ町は短期でも農業体験を受入れてくれるので、一度体験をしてみてください。」